

# 1投資家の引退記念講演 投資41年 波乱・苦難の軌跡

(落ちてくるナイフは指を切り落としてでも素手で掴め)

2021年1月9日



# 目次

- A. 何故投資を引退するのか？
  - ・今後、投資を止めてどうするのか？
- B. 投資スタイル(投資方針)
  - 1. 投資で成功するために必要なものは？
  - 2. このような人は投資をやらない方が良い！
  - 3. 基本の方針
  - 4. 投資哲学(投資戦略)
  - 5. テクニカルかファンダメンタルか
  - 6. 短期投資か中長期投資か
  - 7. 順張りか逆張りか
  - 8. 売買の判断
    - 1) 買い判断
    - 2) 売り判断
    - 3) 損切り判断
- C. 投資41年を振り返って
- D. 41年間の投資の軌跡
  - 1. 直近1年間(2020年)の実績
  - 2. 投資歴41年間の累計の実績

# 何故投資を引退するのか？

0. 現在の株価が異常と40年の経験で感じる。(今回だけではないが・・・)  
現在の株価が自分の考える株価にならない限り、今までの投資は止める。  
日銀による異常な株の爆買いに出口は無い。今後どうなるのか読めない。
1. リスクに鈍感になってきた。  
2020年のコロナ暴落時も落ちくるナイフを全力でつかみに行って  
2週間で1,600万(原油:700万他)の損害を受けた。  
全然落ち込まず必ず儲かると自信満々で
2. 投資を開始した時の“2000年まで”そして会社を50歳で辞め悠々自適に暮らす”  
目標を20年遅く  
少  
・4  
・毎  
自  
欲張  
今まで、何度あの時に止めればよかったと思ったことが何回かあった。
3. 金銭感覚がおかしくなっている。  
投資金額は大きくなれば小さい金額では投資している気持ちにならない。株も1回100万円以下の  
売買はしなくなった。
4. 投資(賭博、かけ事など)は続けていれば何度も波谷がある。  
良い時点で止めることは相当人間ができていないとできない。  
ニコニコして投資を終了する。これが難しくなかなかできない。
5. 知的体力が落ちてきた。
6. 年齢的に、大きく失敗した場合に取り戻す時間が無くなってきた。  
時間があれば取り戻せるとの簡単なことではないが・・・  
私の投資スタイルは逆の見方をすれば「破産への1本道」でもある。

# 今後のどうするのか？

引退と言っても40年やっていた投資を完全には止めることはできない。  
刺激のない生活ができない身体になっている。刺激の全然ない生活はボケを早める。  
(若いときは妻から投資を止めろと言われたら、離婚を選ぶと真剣に考えていた。くらい投資の刺激は大好きである。)

## 今後の投資は

1. 投資金額を小さくする。(今までの1/3~1/5の投資金額?)  
慣れるために3か月くらいは投資から離れる。  
これにより、小さい金額でも慣れてスリルを味わうこと出来るようになる。
2. 落ちてくるナイフはつかまず、傍観する。
3. リスクのないIPOと配当取りを主体とする。
4. 悩みは投資を止めた利息の減らしかである。  
妻、3人に減らす。

201

# 投資スタイル(成功するために必要なものは?)

投資に必要なのは知識に裏打ちされた「判断力」と「度胸」である。

投資は「欲」と「恐怖」との戦いである。

- ◇一番に度胸である。どんなに頭が良く知識があっても度胸がなければ駄目である。  
自分の考えがみんなと逆でも(当然自分の考えが間違えていることもある。)行動に移せるか!
- ◇人がどう考え、何を言っているかではない。  
自分の頭はどう感じるか?考えるか?である。
- ◇今後の経済、特に新技術をベースに世界はどのように変わるかを実感で把握することである。

- ・投資方法は人それぞれである。人の数だけ投資方法が存在する。  
誰かさんが成功した(儲けた)話・方法は自分には余り役には立たない。  
銘柄選び、買いタイミング、売りタイミング、それぞれの売買株数など人によって違う。  
同じ株で儲かる人、損する人がいるのである。  
⇒人の儲かった話に耳を傾けないで自分の方法を貫くことである。  
したがってその結果、失敗して退場になる可能性もあることを頭の片隅に置いて投資する。  
(破産になる覚悟を持って投資する。＝最悪の事態を考えて行動する。)

# 投資スタイル(このような人は投資をしない方が良い！)

一言で言うと;

1. 数字に弱い人。(感覚的に考えて、数字で物を考えられない人。)
2. 視野が狭い人。  
世界を見渡し大きな視点で政治・経済・技術をベースに世界の将来像を描けない人。
3. 自分で考えない人  
人(証券会社、投資家、雑誌など)の話をそのまま信じる人。

代表的な具体例を示す。多くの人該当する。

- ◇生命保険などを考えないで入っている人。(数字(期待値など)でものを考えられない人)  
保険の期待値は50%以下と言われている。  
(払った保険金の半分は保険会社のために使われる。(保険のおばちゃんなど給料など)  
馬券を買ったり、パチンコをした方が全然期待値は良いのである。)
- ◇株は売らなければ損はないと考えている人  
買った値段より下がっていても売らなければ問題ないと本気で思っている人。  
=投資したものは全て時価で判断できない人。
- ◇雑誌、投資家の推薦銘柄に素直に投資する人
- ◇投資の勉強をする時間がないという人。  
どうやれば出来るかでなく、やれない理由を一生懸命探す人。  
(時間がないと言って読書しない人は時間があっても読書をしない人である。)  
投資スタイルにもよるが、1日5分~10分の話である。  
(私は残業時間が100時間が続いていたサラリーマン時代に投資を続けた。)
- ◇投資の金額と、生活の金額を分けられない人。(金銭感覚を切り分けられない人)  
投資の100万は誤差のうち、気にしてはいけな。投資で儲けたからと普段欲しい物を買うなんて話にならない。投資の金額はただの数字の感覚で行うべき。と言って生活では100円を意識すべき。

# 投資スタイル(基本的方針) はじめに

全てに当てはまることであるが、技術を向上させるにはその分野のすばらしい技術を見て理解して自分のものにし、そこから更なる進化(改良・改善)させることが重要である。

例えば、ソフト技術者が設計技術を向上させるにはすばらしいソフトコードを一杯見てその設計思想・技術をマスターすることである。

投資に於いて成功例は多くの本が出ており簡単に入手することが出来る。  
投資家の成功者(累計で利益を上げている人は5%とも言われている。)成功例はこの5%の情報である。

それと同時に重要なことは多くの失敗例/失敗する投資(哲学、戦略)を勉強することである。全体の情報の95%を占める重要な情報を勉強すれば最強の投資家に成れる。

人は成功した話は他の人にするが、失敗はなかなか話さない。(まれに反対の人がいる。成功話はせずに失敗話だけをする人で、これはけちな人に多い。妬まれることを嫌っている(仲間でも儲かった話はあまり面白くない、やはり人間は人の失敗・不幸を好むように出来ている。)私の話ではない。一般論である。)

# 投資スタイル(基本的考えと方針)

## 1. 現株価に対する考え方

1) “**株価は経済指標、企業業績、将来性などから決まる。**”と考えるのは間違いである。

あくまで株価はその時々の買い方と売り方の力関係で決まる。

相場にどのような人たちが参加しているか？が重要である。

バブル期では、素人(経済も企業業績も考えない、儲ければ良し。とする人)が多く参加している。このようなときは、各種経済指標は株価に全然関係ない。急激に下げるときもバブル時の下げと通常時の下げでは下げ具合が異なる。バブル時は素人が多く何も考えないで売りに走り大幅な下げになる。

平常時は各種指標(例:PER)に関連してくる。例:PERの何倍に収斂して行く。

しかし、株価はPERの何倍かが正しいのではない。バブルと違ってある程度経済が分かっている人がほとんどになり、こんなところが妥当かな？と思う人が多くなっただけである。

経済指標と関係させて株価を考えるのは安心を得たい又は自己満足の何物でもない。

以上、株価を考えるには現在の相場に参加している人はどのような人が多いかを考えることが重要。

# 投資スタイル(基本的考えと方針)

## 2) 上がるか下がるかの判断

“通常状態では株価は投資している多くの人の考えを盛り込んでおり、そこで均衡している。

当然、世界の経済・政治などを完全に盛り込んでいないとの考えもある。

しかし現在の株価は多くの買う人、売る人の均衡がとれた位置にあると考える。

従って、**短期視点では**上げ下げはそれぞれ50%の確率である。

しかし、長期視点で見れば世界の政治、経済、技術により個々の株価の上げ下げ確率は50%ではない。

又、この均衡が崩れるときはある。

・大きくは数年に一度：ブラックマンデー、リーマンショック、コロナショックなど

・小さな不均衡は1年に一度くらいある。

不均衡の原因は恐怖心が人々の心を襲うからである。

ここでの行動が儲かる投資家になれるかの分かれ道である。

必要なのはこのような状況での度胸＝**落ちてくるナイフは指を切り落としてでも素手でつかめ！**

しかし、これは破滅への1本道でもあり、一般的には静観せよ！と言われている。

男は「あいつ何やっているの？理解できない。バカじゃない。」と言われることは勲章である。

お前達に俺が理解できるか～～～

# 投資スタイル(基本的方針)

- ◇チャートは参考にしない。(チャートに関する用語も一切覚えようとしなかった。)  
チャートを後から見ての後講釈はナントでもいえる。重要なのは過去ではなく未来である。
  - ◇自分以外(本、雑誌、人)の話は、ほとんど参考にしない。  
推薦銘柄などは一切参考にしない。推薦者の投資スタイルでは良い成績が出るのであろうが、私の投資スタイルは異なり、うまくいく確率は小さい。
  - ◇自分で理解できる新技術で、世界の将来はどのように変わるか?をベースに投資を行う。  
現時点でのキーは;  
自動運転、エネルギー(再生可能エネルギー、水素、核融合)、電気自動車、通信、ロボット、フィンテック など  
重要な基礎技術:AI、量子コンピュータ(+量子暗号)、バイオ技術、ブロックチェーン など
2. 投資信託には原則投資をしない。すべて個別銘柄に投資する。  
投資信託は投資ではない! ちょっとリスクのある貯金である。  
投資信託は世界の動き、企業の動きなどの勉強を放棄した何も自分で考えない貯金である。

# 投資スタイル(投資哲学(投資戦略))

◇投資戦略を立てるのに必要なのが情報である。

情報は集めるだけでは何にもならない。スマホを持てば最新の情報がどこでも、いつでも手に入る。情報は集めると同時に自分の頭で分析し自分の感覚でその意味を考えなければいけない。又、投資をしている人は日経新聞、経済雑誌を読んでいる。(と思う)従いその情報が正しいかは別に他の投資をしている人の頭がどうなっているか(考えのベースは何か)知るために必須である。

◇投資スタイル

人それぞれ、千差万別。どれが正しいと言うことはない。投資家数だけ投資方法はある。自分に合った方法でなければ面白くないし続かない。又他の人の方法はストレスが大きくなる

◇他の人の投資情報

- ・成功談はそのまま参考にはならない。自分の投資方法に近い人の成功談は参考になる。又自分と全然違う人の投資方法も”あ！そんな方法もあるのか、そんな考え方・見方もあるのか！”と参考にはなる。
- ・成功した人の話はその方法が儲かる確率が高いとも言えない。その方法が累計でどのような成績だったかが重要である。1回の結果だけでは間違えた方法/でたために投資しても100人いれば50人は確率的に儲かる。そんな方法だったかもしれない。そのような話だったと判断し、聞き流すことが出来なければいけない。
- ・誰それが”買い”と言っていたとのことで投資する方法は一番まずい方法である。成功しても失敗しても自分の身にはならない。(利益を得ると言うことはあるが投資能力の向上にはならない。)自分の考えで失敗してこそその能力が向上するのである。

◇テクニカル分析は一切しない。ポインジャーバンドなど覚える気も無い、

人が推薦する銘柄は買わない。テクニカルでチャートがどうのというのは後講釈にしか聞こえない。

# 投資スタイル(テクニカルかファンダメンタルか)

- ・過去の数字をいろいろ勉強しても過去のものである。将来の数字は自分で考えなければいけない。
- ・過去の数字の分析で買い・売りの判断で儲かることはない。そんな方法があれば必ずコンピューターを使用して簡単に儲かる。実際にコンピューターを使用した投資は多くの人が行っている。過去のデータを分析し機械的に売買を行っても一時的には儲かることもあるが長くは続かない。何故ならそのような方法のコンピューター売買が行われると”この様な売買すれば儲かる”の論理で他のコンピューターも売買を行ってくる。それによってその論理でのコンピューター売買に狂いが発生する。つまり、その方法では儲からなくなる。常時”儲かる方法”論理を更新し続けなければいけなくなる。大規模に投資を行っているグループ(資金、設備(IT機器)、高級なソフト開発者などを保持しているグループ)は続けられるかもしれない。
- ・従い過去のデータ(チャート、PER,RSI,二番底、上抜けした……)は参考程度にしてそのような分析に時間を無駄にしない。しかし現在の経済情勢がどのような位置にいるかは把握していなければいけない。
- ・私の投資の基本はファンダメンタルである。  
ファンダメンタルを基本として、XXショック時の不均衡時に大きな損害を恐れずに大きく行動する。

# 投資スタイル(短期投資か中長期投資か)

- ・短期で考えれば、株価が上に行くか？下に行くかはそれぞれ50%である。(その時点の公開されている情報から多くの人が妥当と考えている株価になっているはず。従い短期で売買するのは半丁のばくちである。従い、その時点で公開されている各種数値を勉強しても意味がないと考えている。大切なことはその企業の属する業界の将来はどうなると考えるか？拡大するのか？縮小するのか？など。同様にその企業自身の将来はどうなるか？である
- ・つまり、短期投資はしない。中長期投資に徹する。但し思惑以外で短期に目標値(倍)を達成した場合や急激な変動(XX暴落など)はこの限りではない。

# 投資スタイル(順張りか逆張りか)

投資家の性格診断が必要である。ある程度性格で決まってくる。  
一般に外国投資家は順張、日本の個人投資家は逆張が多いと言われている。右上がり相場では、個人投資家の多くが冴えない成果となっている。そこでいつもと違う順張を行い出す個人投資家が多くなるが、これは欲に目をくらませた行為で多くのリスクを抱えることとなり、失敗する可能性が大である。

## 1. 順張りについて

資金を効率良く働かせる一番有効な方法である。

相場の流れを常時確認・把握しなければならない。売買を瞬時に判断実行することが必要である。勝負師である。陽気で派手で自己主張が強い人に多いようだ。儲かった話はするが損した話をしたがない傾向の人が多。儲かると”儲かった金”だと言って派手に使ってしまう傾向がある。

## 2. 逆張りについて

資金は効率的には働かせないが相場にいちいち注意せずにゆったりと投資できる、控えめで気が小さくて優しい人に多いようだ。順張とは逆で儲かった話は絶対せずに損した話ばかりする傾向がある。ケチな人が多い。過去の株価に囚われている。去年はXX円だったのに今は〇〇円。現在高くなっている場合は今買うと損した気分になる。逆に現在下がっている場合は今買うと得した気分になる。基に戻らない場合も多いのだが…。当然私は逆張りである。

これはどちらが正しいとの話ではない。それぞれ良い点悪い点がある。  
順張り: 資金の回転が良く、短期間で儲けることができる。欠点としては当然天井掴みとなるリスクが高い。

常時集中していなければならずストレスが大きい。

逆張り: 順張りの逆のことになる。天井掴みの確立が低く、ストレスが小さい。欠点は資金を寝かせる期間が長く効率が悪い。

# 投資スタイル(買い判断)

## ◇買い銘柄、買い判断(1)

- ・現実の株価と自分の頭の中の株価が違う場合で自分の中の大きな流れに従う。
- ・自分の感覚(自分の中の大きな流れ、株価)と実際の株価に大きな差がある時が買い時であり、それから銘柄を選ぶ。株価全体が実力より下がった時(XXXショックなど)がチャンスと誰もが思っているが買えない人が多い。
- ・投資は知識をベースして、最後は”度胸”と考えている。みんなが売っているような時に買いに出る勇気である。
- ・1に買時、2に銘柄である。買い時を間違わなければ80%は成功。銘柄選びはその成果が2倍になるか？50%しかないかの違いしかない。

## ◇買い銘柄、買い時(2)

- ・投資家は気になる銘柄を幾つかをいつもチェックしていると思う。その株価が買いたい値段に近づいた時、かつ株価は絶対に戻すと自分では考えている株を買う。
- ・データ(業績)で順風満杯の株は買わない。予想もすばらしいデータになっている。この様な株は予想通りに好業績を上げて当然であると見られていおり、株価に反映されている。逆に良くないニュースが出ると下げが大きい。…余り面白くない株である。
- ・逆に逆風が吹いている株は、業績が悪くても株はあまり下がらない。ちょっと良いニュースが出ただけで大きく上げることが多い。…面白い株であり、このような株を買うのは楽しい。

# 投資スタイル(売り判断)

## ◇売り判断

- ・目標値(基本は2倍以上)になったときに、最近の出来高(出来高は株価に先行することを活用する。出来高が細って来ても株価がまだ落ちていないときが売り時。  
2割、3割アップは狙わない。あくまでも単位は”倍”であり、”割”ではない。
- ・流れをチェックし、持ち株の半分を売却する。(従い買いは複数単位で購入する。1単位しかない場合の売却は欲との戦いが強くなり失敗する可能性が大きくなる。)残りは元に戻るか、3倍以上になってから売却する。
- ・「投資は忍耐だ！」と言われることがある。この解釈を「株価が下がって長期間塩漬状態を続け、株価が回復するまで忍耐(我慢)が必要である。」と思っている人がいるが、これは忍耐ではなくただの負けである。(読みの間違いである。)又、「株価が下がっても売らなければ損害ではない。」と思っている人がいる。とんでもない考えである。幾ら待っても株価は戻らない場合が多い。このような考え方をする人は投資をする資格も能力もない。  
私の解釈は、株価がどんどん上がって儲けが出ている状態でどこまで売らないで持ちこたえて儲けを最大化するか、このときに必要となる忍耐を言います。株は買いよりか売りが難しい。ここが売りの一番の難しさ。欲との戦いになる。2,3割の儲けで売ることは忍耐の一かけらも無い論外のことである。
- ・損切りではないが、一番悪いことは雰囲気(値下がり恐怖)に負けて売ってしまうことである。  
例えば、リーマンショック時、東北大震災、コロナショック時のような時不安に負けて狼狽売りすることである。この様な時は買いに向かうべきであるが現金がない場合は、しょうがないと考えてどうにでもなれ！との気持ちで放っておくことである。

# 投資スタイル(損切り判断)

いろいろな方法が書かれていますが、実行はかなり難しいです。

- ・実際にいろいろな損切り方法を行ったが良い方法が見つかりませんでした。損切りしたらその時から株価は逆方向に反転、損切りしなければ逆に儲けられたのに・・・を何度も経験した。
- ・その結果:うまく損切りは出来ないものと達観する。思惑と違う方向に行ったらそのままほっておく。1/20になっても損切りしない。敗北を認める。そのような株は年末の税金対策で売却する。この方法は、儲けるときにきちんと儲ける(単位は倍)ことが出来て初めて成り立つ。(2, 3割で利食う方法の人はこんな流暢なことをしてはいけない。)
- ・損切は的確な判断が必要であるが極めて難しい。その判断ができないからと言って何も考えずに一律XX%下がったら売るとの方法は、自分にはその困難な判断能力がないと諦めて行う次善の策である。

# 投資41年を振り返って

## ・投資目標

投資を始めた時(1980年)の目標は生涯累計利益”1本”であった。ブラックマンデーはなんとか乗り切ったが、リーマンショックで挫けてしまった。(約30年間の利益がほとんど飛んでしまった。)しかし退場まで首の皮1枚が残り諦め無かった。

・2020年コロナ暴落で最後の挑戦をした。ほぼ全現金で買い向かった。数週間で1600万円の損害を出した。

・最近のスタンス:周りの人がウハウハ騒いでいるのをしり目に2年前から撤退に向かった。

## ・日本経済の将来

現在の状況(国債額、日銀の動き、日本の経常収支(貿易収支)など)から円は200円/ドルを超えると確信している。従い現在は”どの株を買おう”ではなく”どのように円資産から離れるか”を一番重要と考えている。

超インフレ、超円安が起きるか起きないかを自分の頭で考えている。有名な誰それが言った、有名雑誌に載っていたから・・・などは論外。いろいろな状況(数値状況)から起きることを信じています。ではその時のために何をすることが問題である。資産を外貨へ移すことは保険と同じです。火災保険に例えると火災がなければ万々歳です、火災が無かったと言って保険料を損したとは思いません。保険料とは外貨資産に移した時の手数料など、また考えとは逆に円高になって為替損を受けることです。

将来の国債の発行額、日本の経常収支はどうなるか?貿易収支はどうなるか?など大局的なことを感覚で(感覚と言っても基礎に世界経済、日本経済、エネルギー問題、・・・などが頭で理解できていることが必要です。

## ・現在の注目点は;

①日本国債の行方

②為替(円/ドル)

③エネルギー(水素社会への期待、シェールオイル、原油価格など)

## ・対策の一つとしてのFX

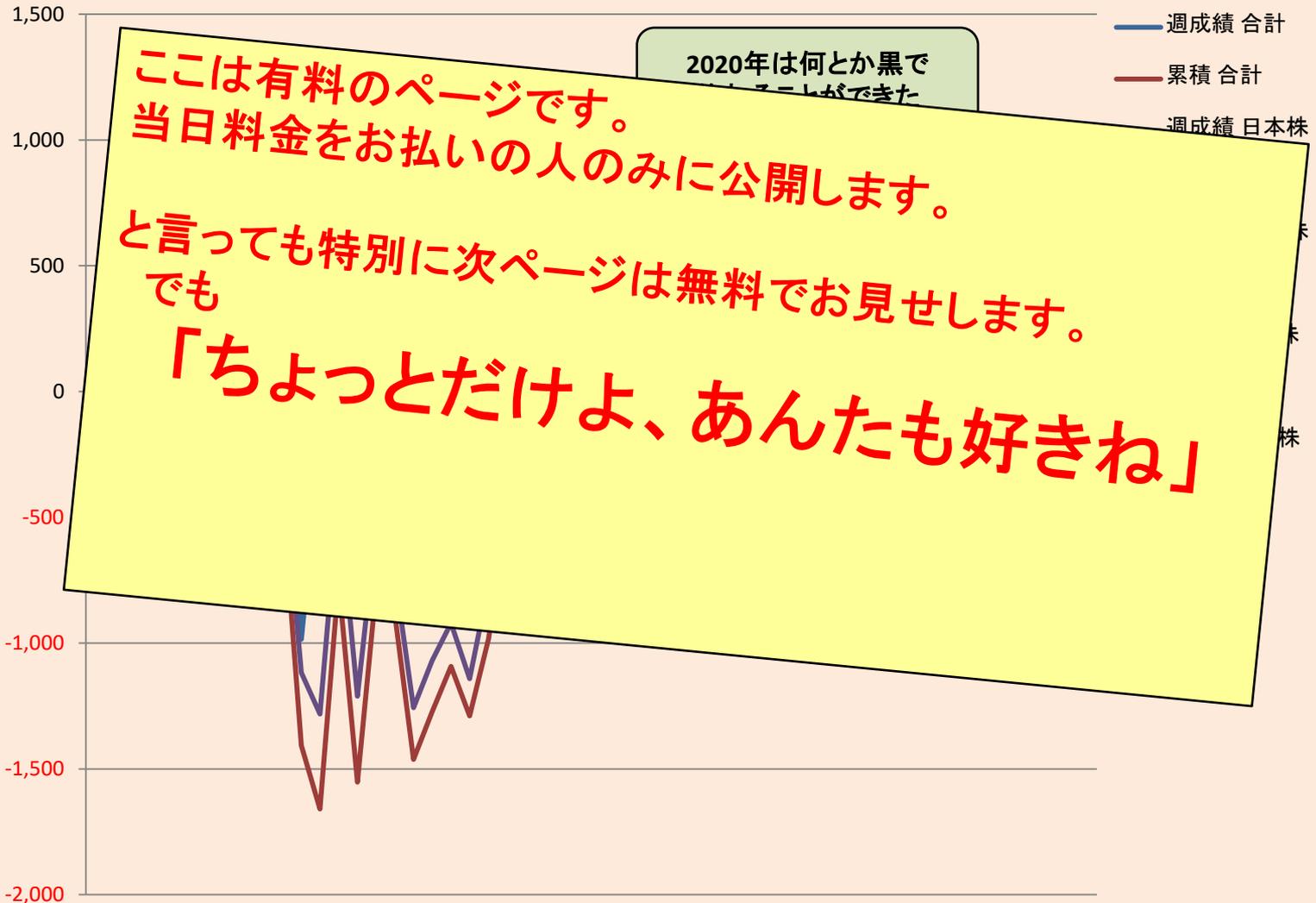
FXは即時に買い売りが出来るので良い。外貨預金としても有効である。

①実際の外貨預金は手数料が高いがFXはほぼ”0”である。

②25倍までレバレッジをかけられるのでかけ時を間違わなければ投資効率が非常に良い。

(当然危険も大きくなる。)

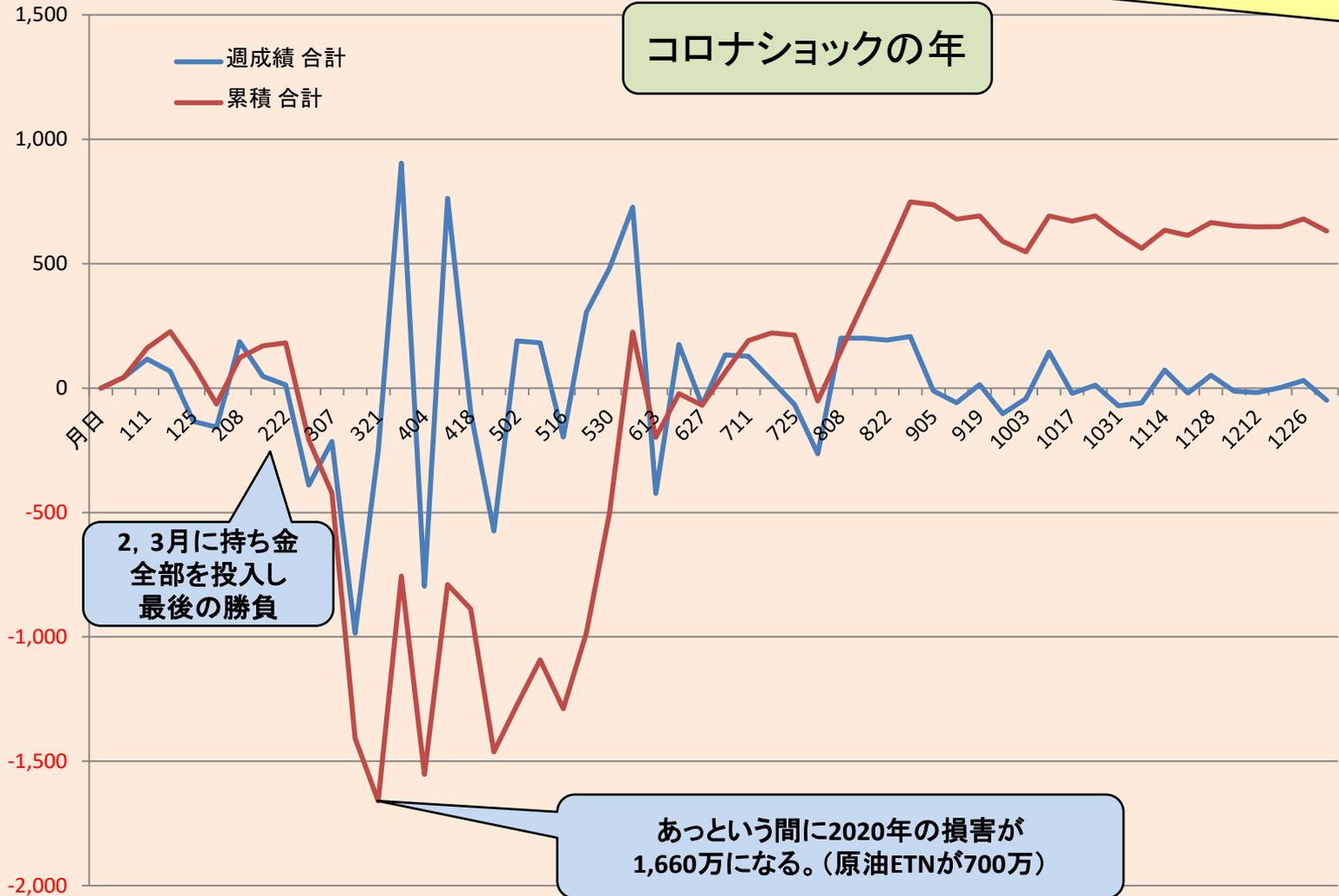
# 2020年投資成績(全データ:グラフ)



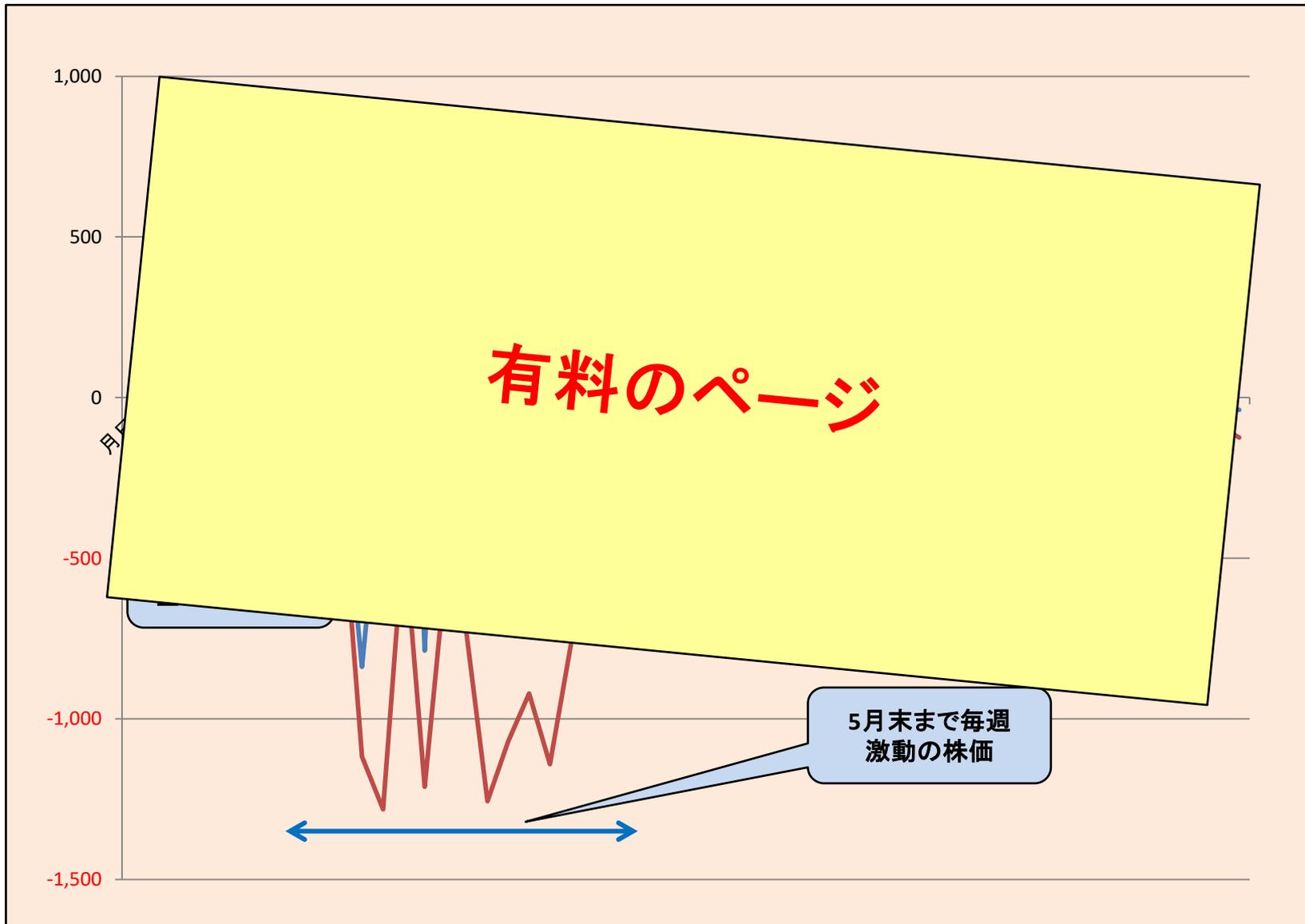
# 2020年投資成績(合計)

特別公開

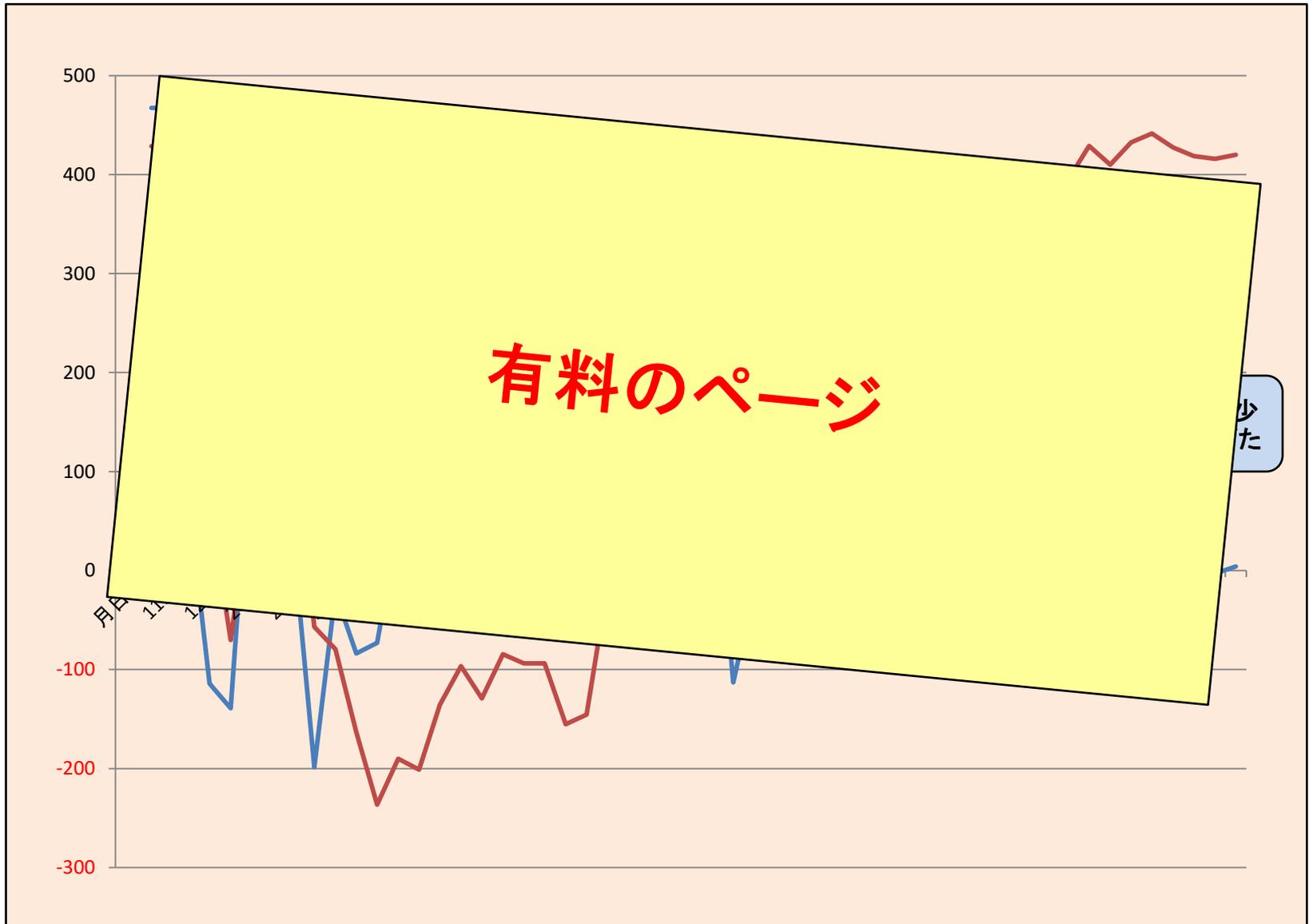
コロナショックの年



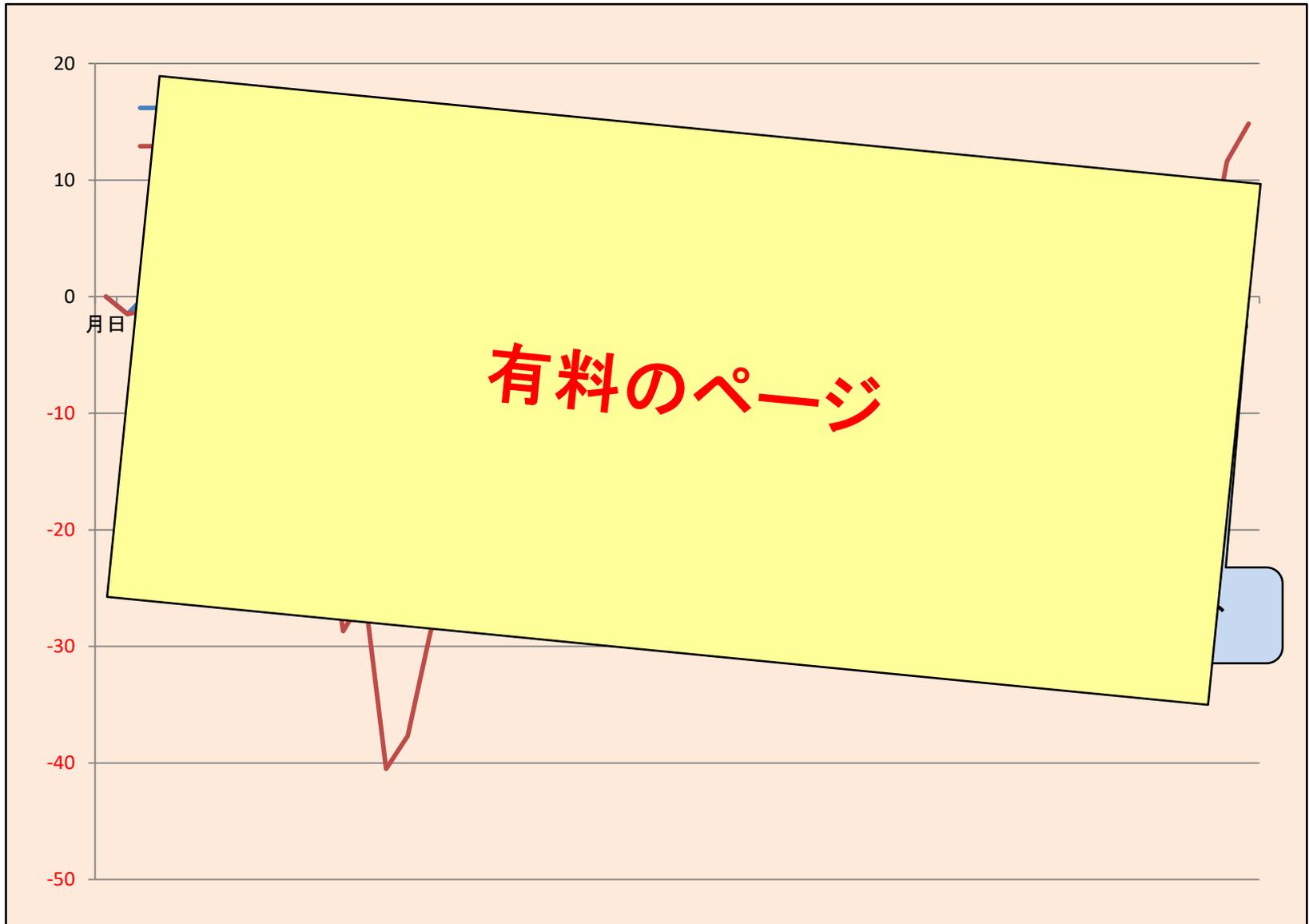
# 2020年投資成績(日本株)



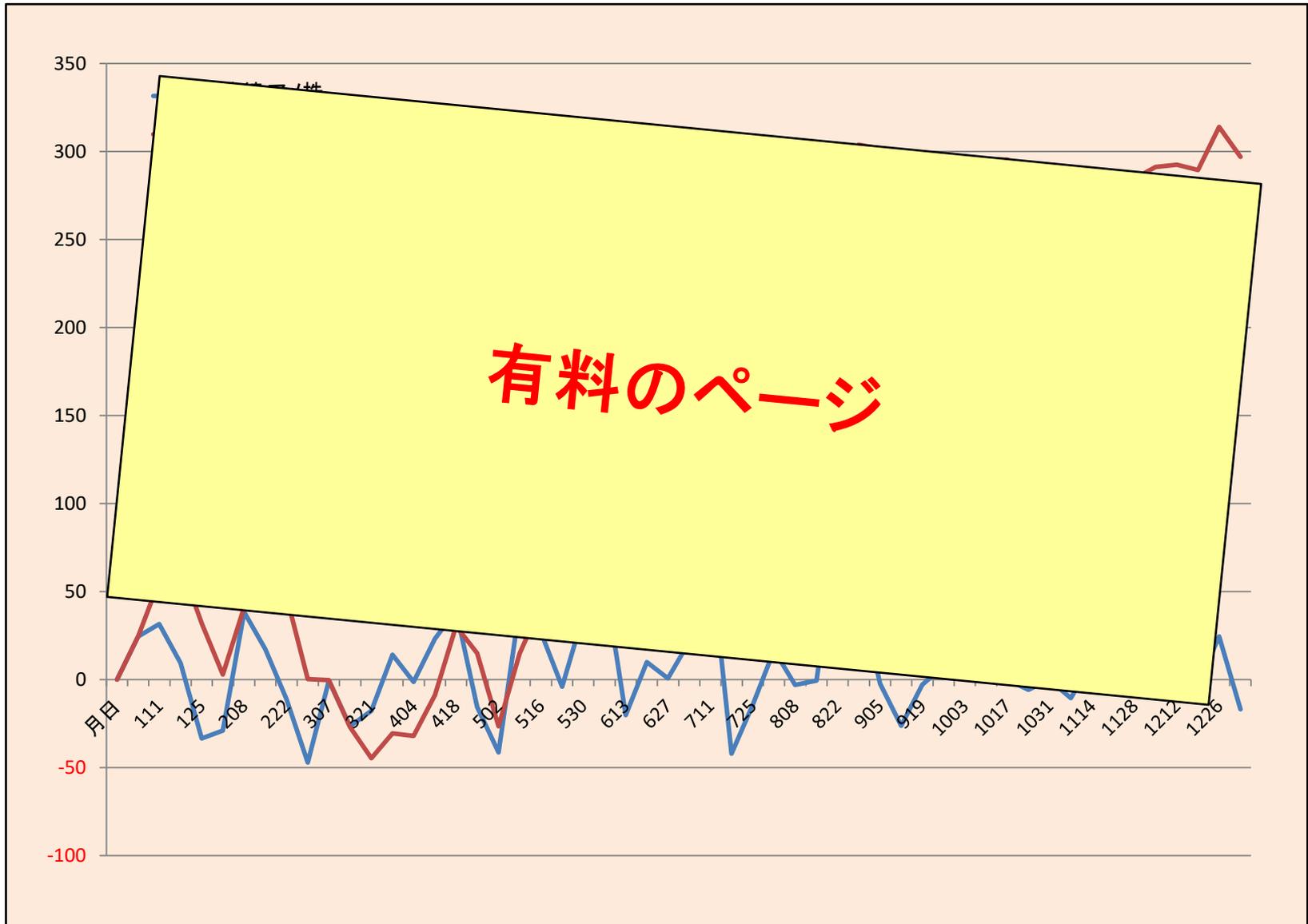
# 2020年投資成績(中国株)



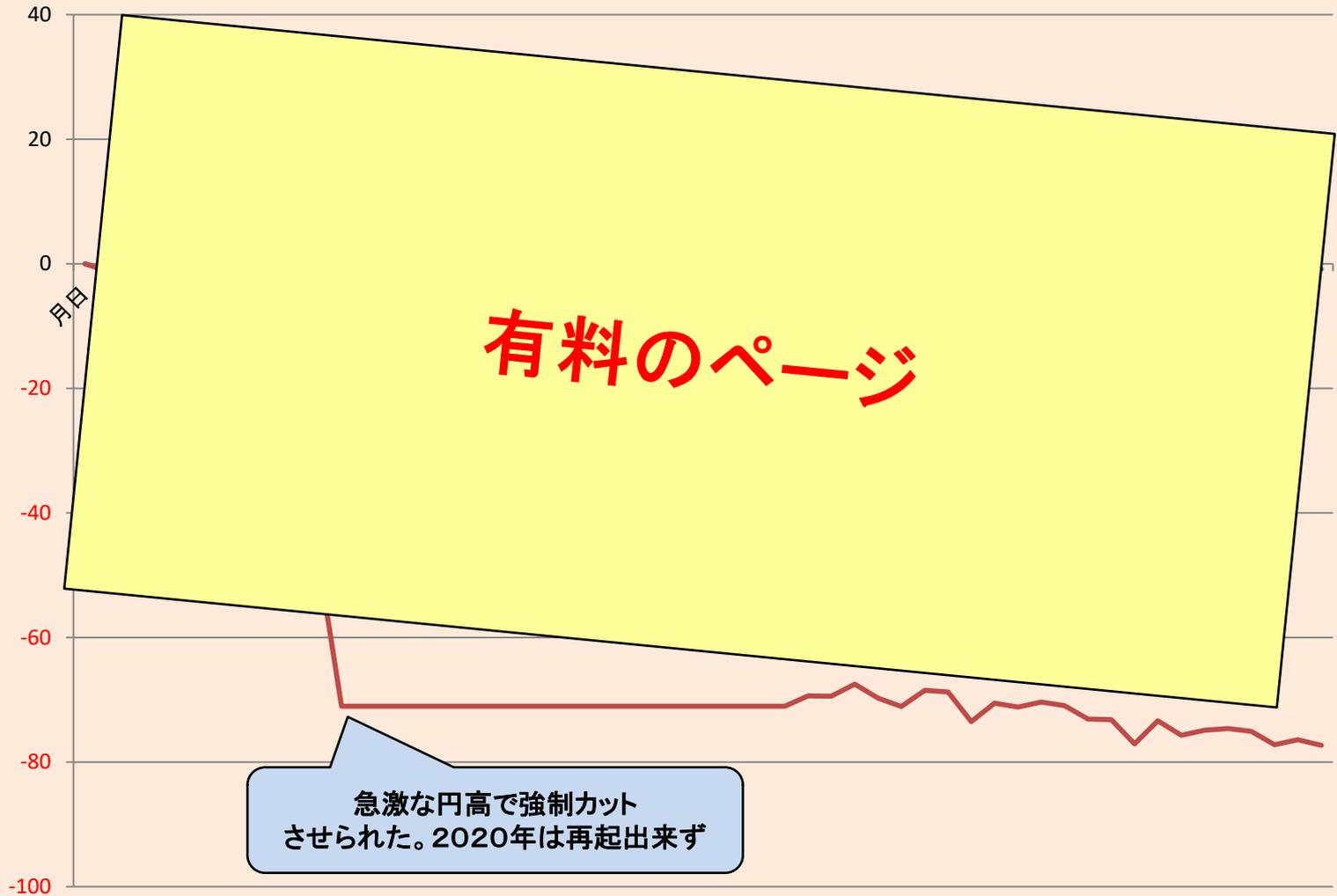
# 2020年投資成績(ベトナム株)



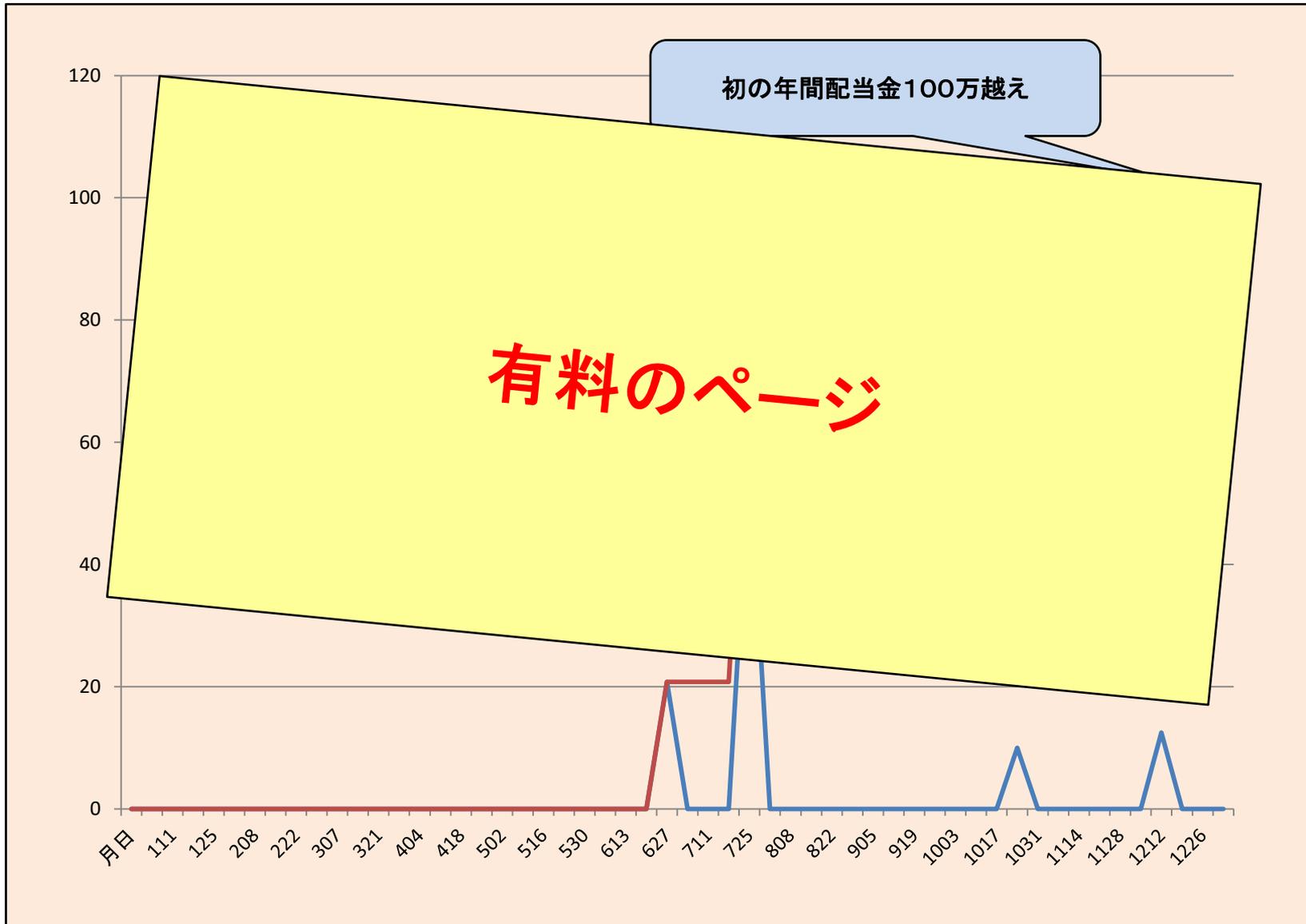
# 2020年投資成績(アメリカ株)



# 2020年投資成績(FX)



# 2020年投資成績(日本株配当)

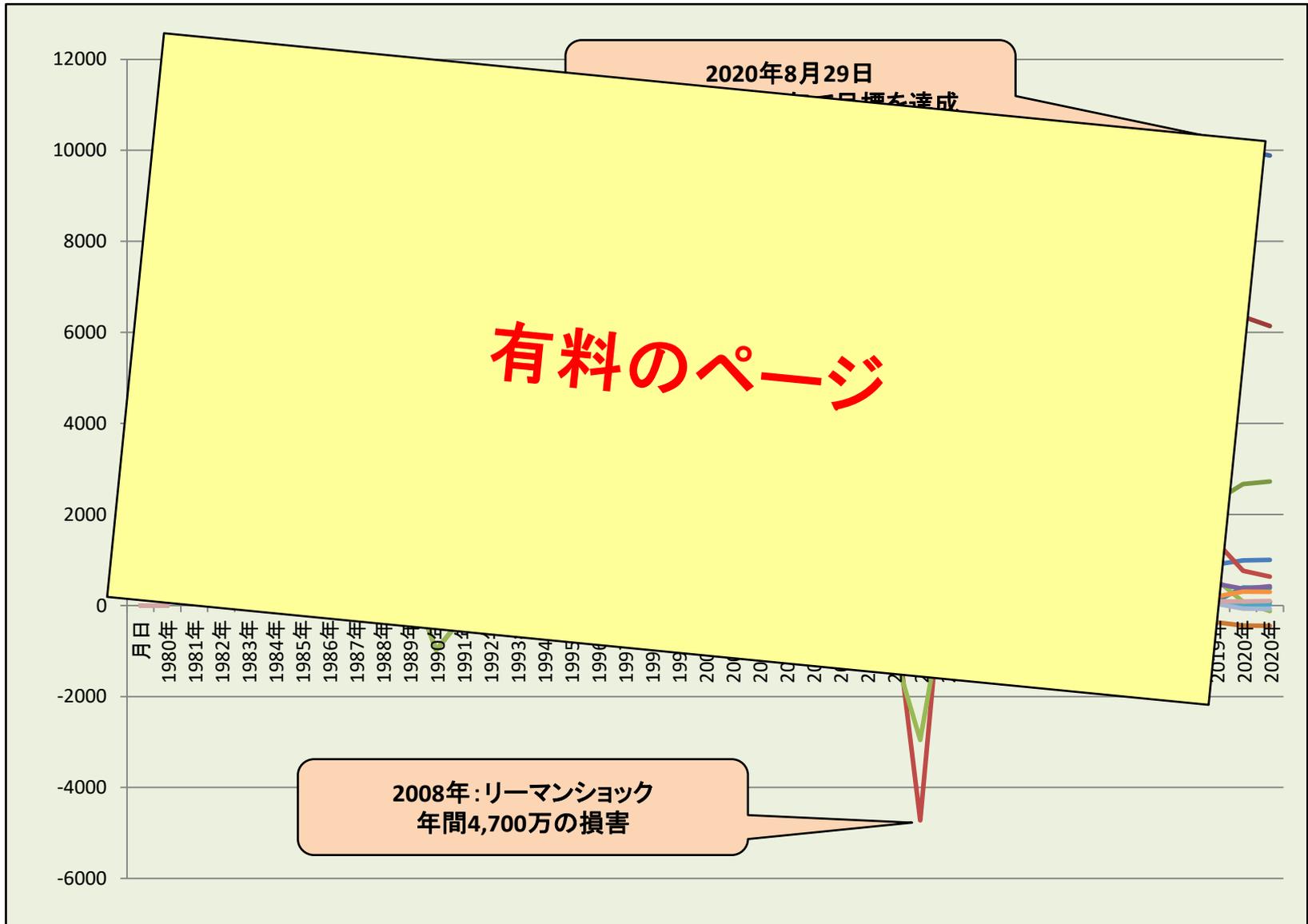


# 投資累計成績(全データ:数値)

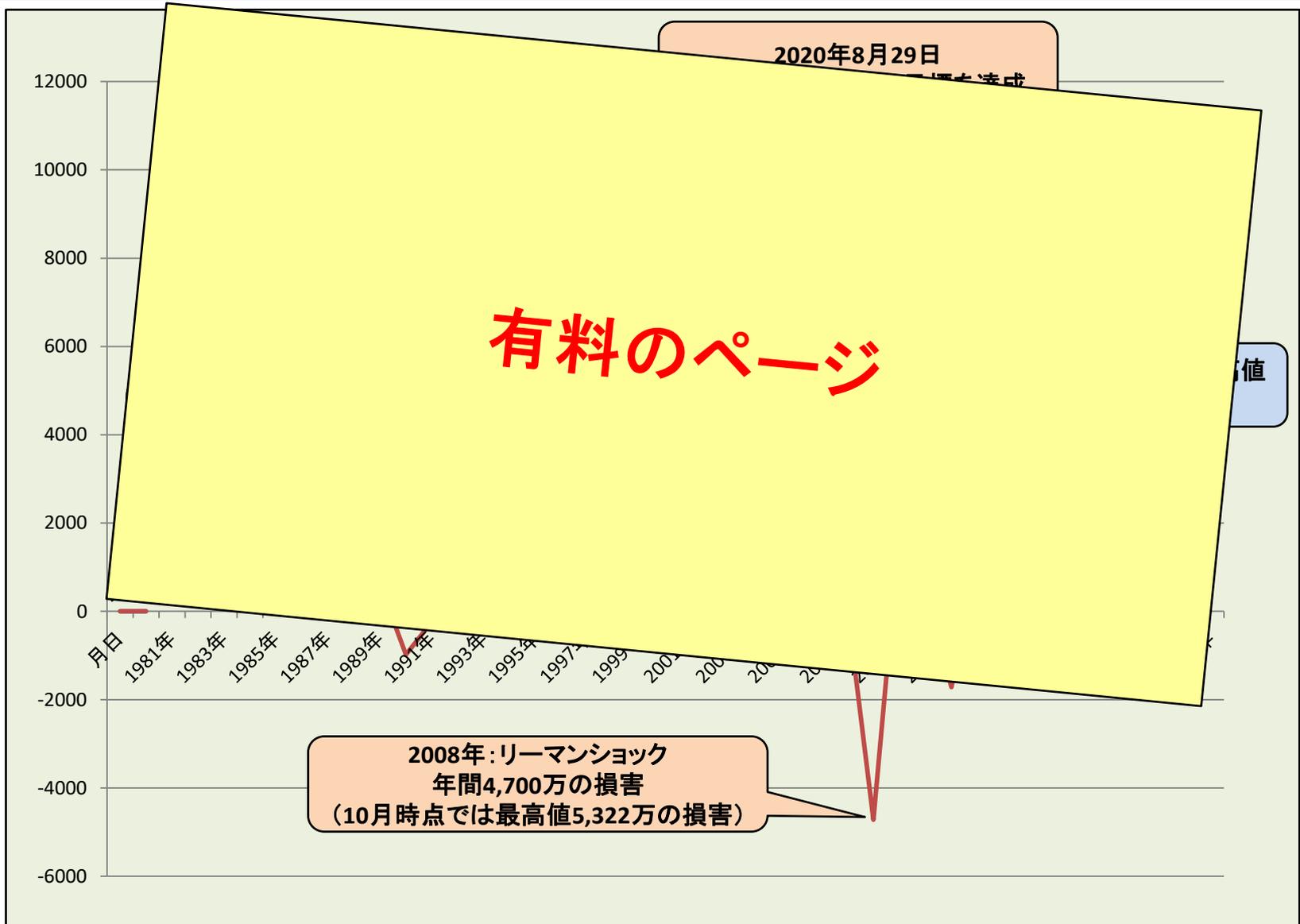
		1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
累積	合計						1,395	1,160	0	0	0	0	1,749	1,227	1,248	2,444	2,869
累積	日本株												1,749	1,227	1,248	2,444	2,869
累積	中国株																
累積	ベト株																
累積	アメ株																
累積	FX																
累積	日本株配当																
年成績	合計																425
年成績	日本株																425
年成績	中国株																
年成績	ベト株																
年成績	アメ株																
年成績	FX																
年成績	日本株配																
																	2020年
																	9,887
																	8,614
																	7,723
																	6,811
																	5,388
																	4,441
																	-447
																	1,001
																	631
																	-124
																	420
																	15
																	297
																	-77
																	100

有料のページ

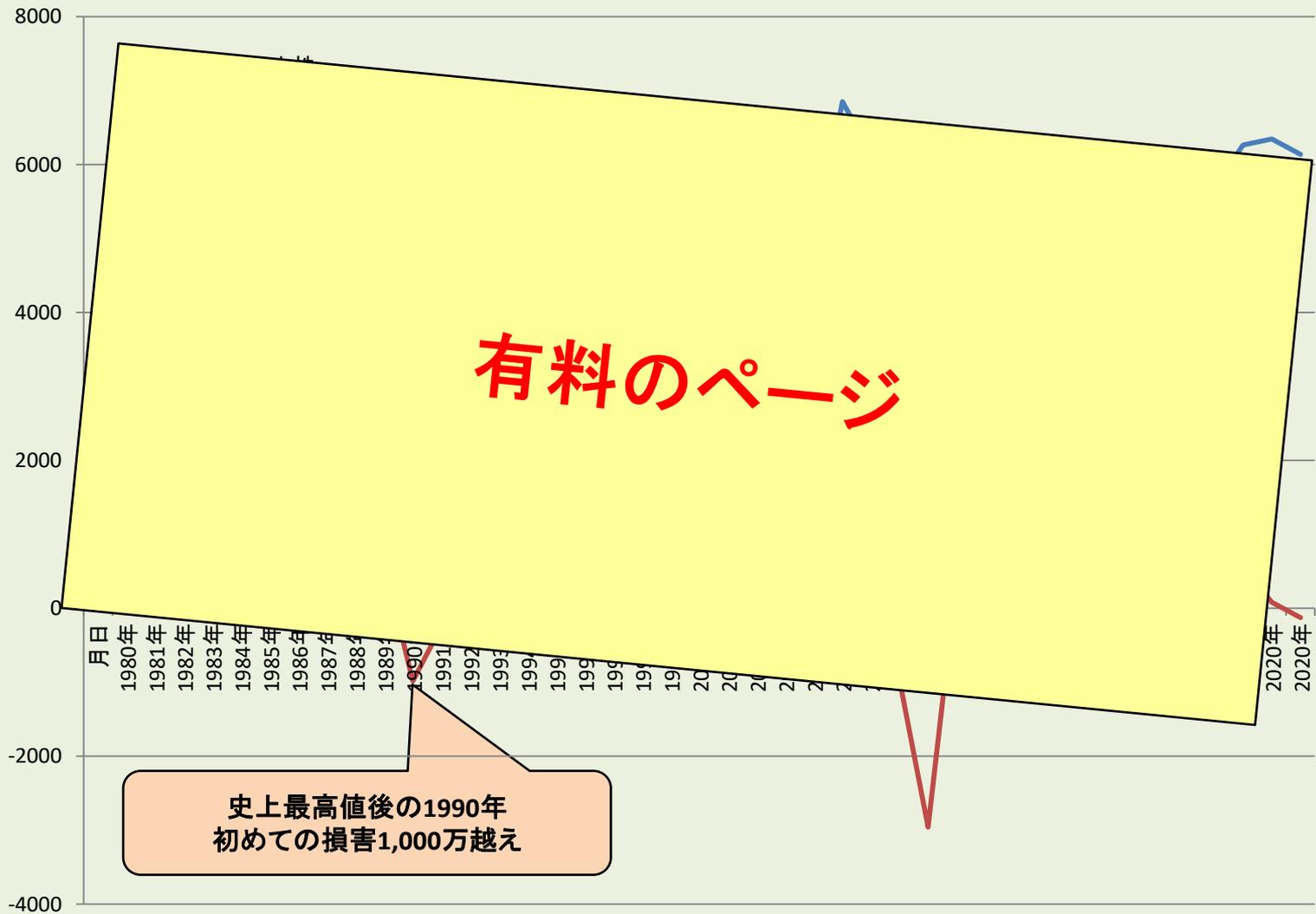
# 投資累計成績(全データ:グラフ)



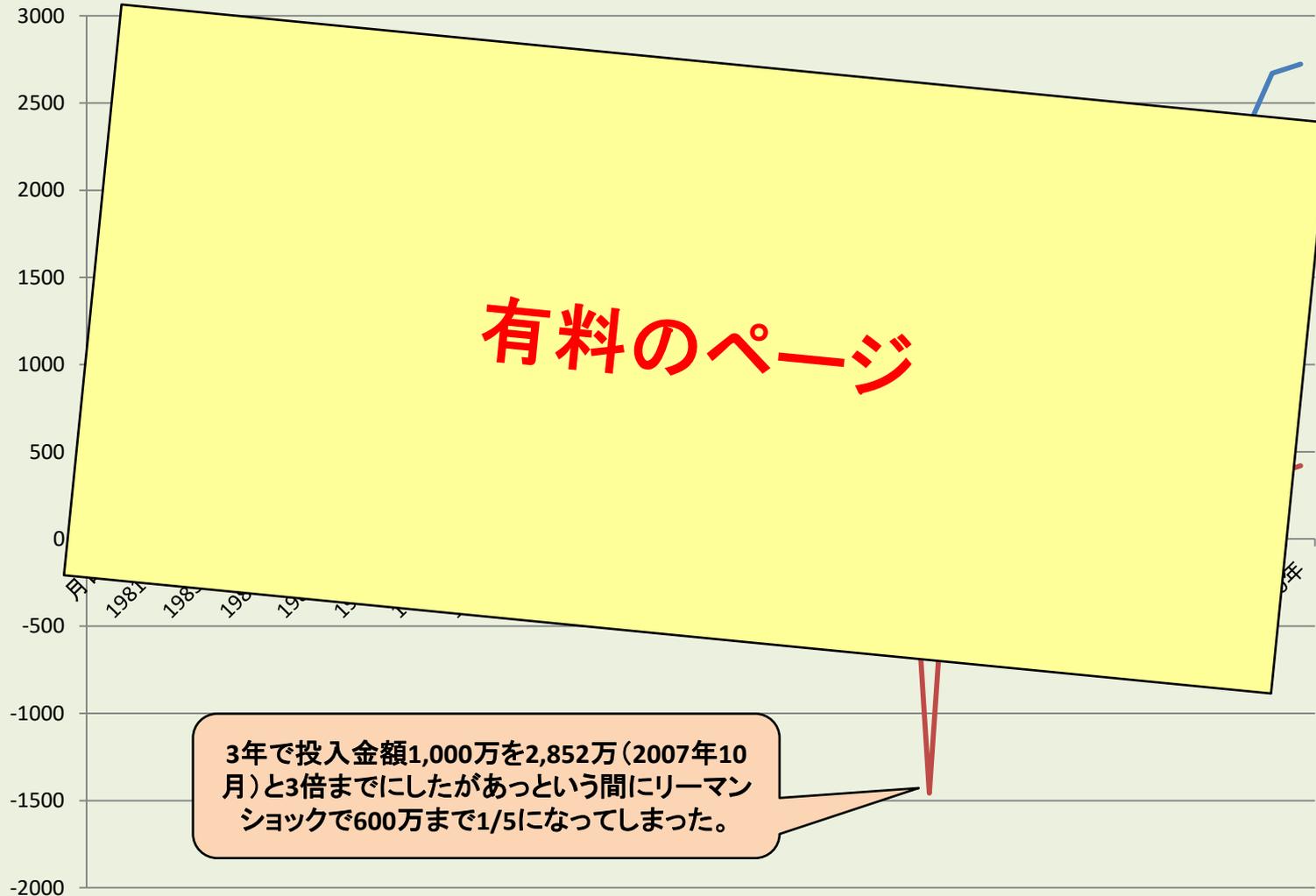
# 投資累計成績(合計)



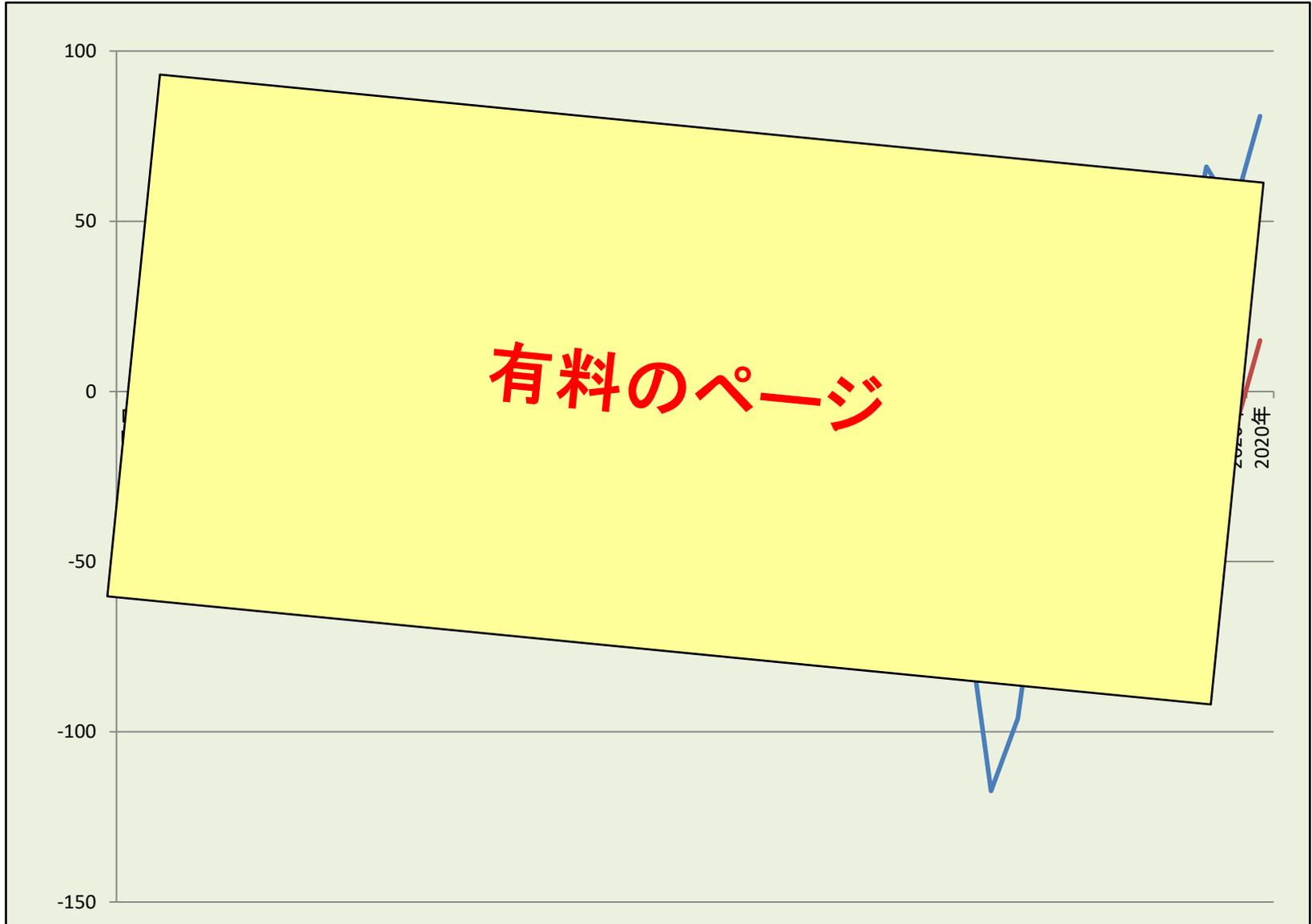
# 投資累計成績(日本株)



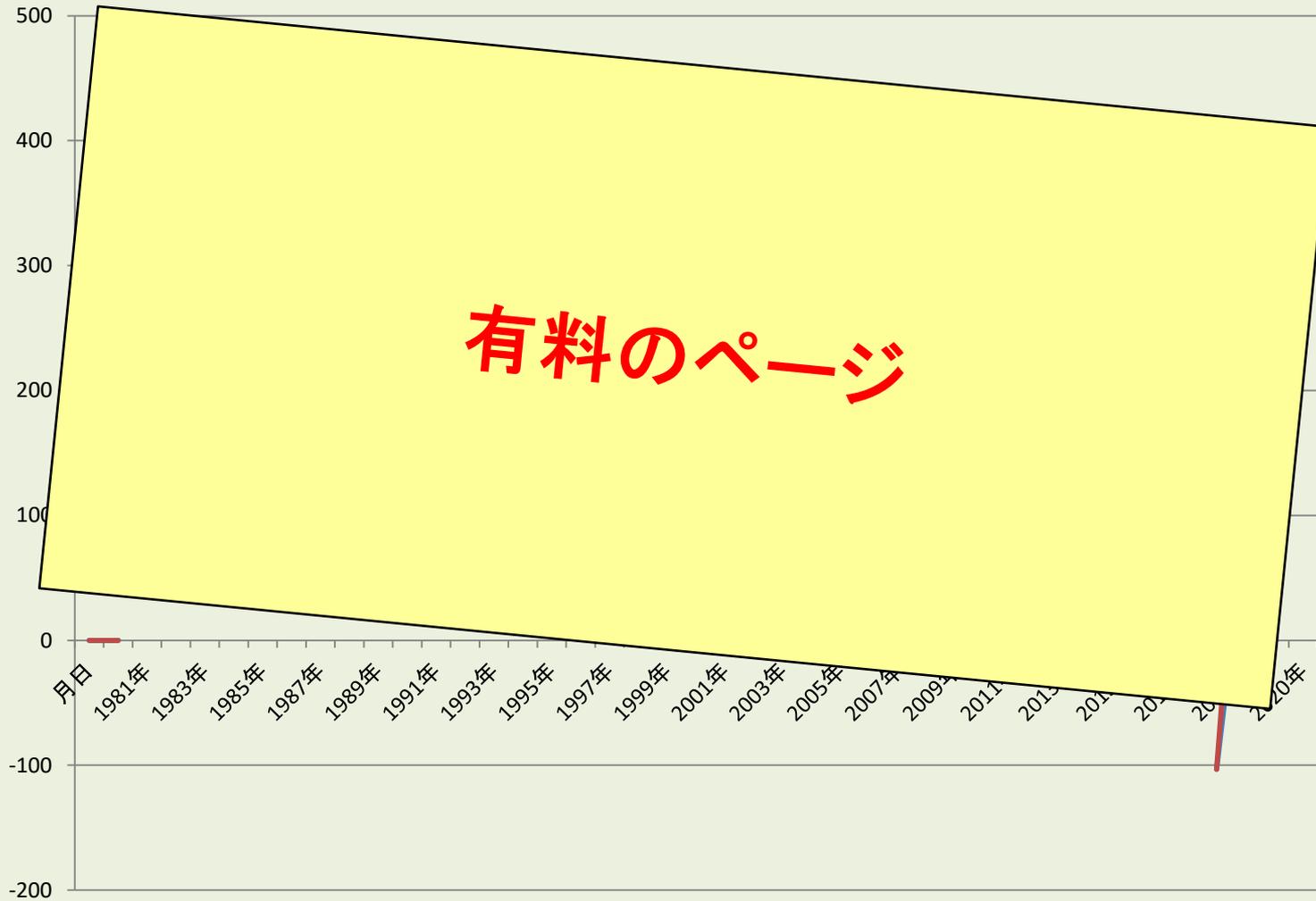
# 投資累計成績(中国株)



# 投資累計成績(ベトナム株)

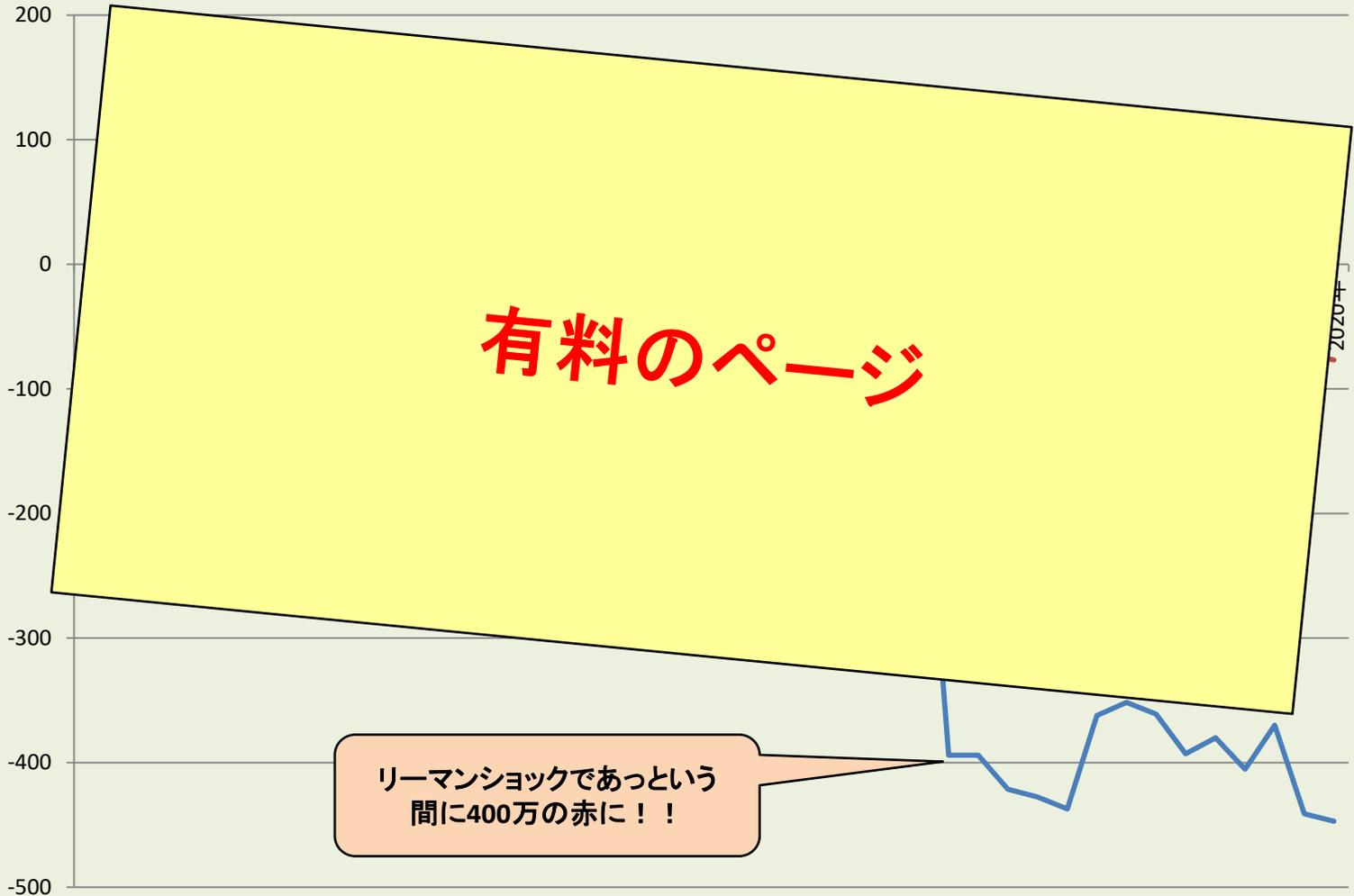


# 投資累計成績(アメリカ株)



# 投資累計成績(FX)

FXは逆張りの人には向かない！！  
9勝1敗でトータル赤になる



# 投資累計成績(日本株配当)

